



# 令和8年度 沖縄県職員採用上級(特別枠)試験案内

令和8年3月6日  
沖縄県人事委員会

申込受付期間	令和8年3月6日(金)から3月23日(月)まで
第1次試験日	令和8年4月19日(日)
第1次試験地	本島中南部
第1次試験時の留意事項	受験の際には、 <b>面接カード</b> を必ず持参してください。 ※ 面接カードについては、3ページを参照ください。

## 令和8年度試験のポイント

- 7月の社会人経験者採用選考試験とは併願ができません。上級(特別枠)試験の受験を申し込んだ場合、社会人経験者採用選考試験の受験申込みができませんので、ご注意ください。
- 6月の上級試験との併願は可能です。ただし、上級(特別枠)試験の最終合格者は、6月実施の上級試験の受験申込みを辞退したのものとして取り扱います。
- 第1次試験の教養試験は、基礎能力検査(SCOA)を実施しますので、公務員試験対策は不要です。
- 第1次試験を4月に実施し、最終合格発表は6月上旬の予定です。
- 募集職種は、電気・機械・土木・建築・農業土木の5職種です。

## 1 試験区分、採用予定数及び職務内容 ※ 受験申込みは、次の試験区分のうち一つに限ります。

試験区分	採用予定数	職務内容	主な配属先
電気	若干名	上下水道電気設備の維持管理、施設建設に当たっての電気設備の設計・施工監理、県庁舎等の固有施設における維持管理等の業務に従事します。	本庁土木建築部、下水道事務所、浄化センター、企業局等
機械	若干名		
土木	15名程度	道路、河川、港湾、海岸、空港、上下水道等の様々な社会基盤整備に関する企画・設計・施工監理等の業務に従事します。	本庁土木建築部、土木事務所、企業局等
建築	5名程度	建築物の確認・許可、県営住宅の計画・建設・管理、住宅行政に関する企画立案、固有建築物の企画・設計、工事監理、維持管理、建築指導等の業務に従事します。	本庁土木建築部、土木事務所、教育庁等
農業土木	6名程度	ほ場やかんがい施設、農業道路整備に関する企画・設計・施工監理等、主に農業に関するインフラ整備に従事します。	本庁農林水産部、農林水産振興センター、農林土木事務所等

注1 採用予定数については、変更になる場合があります。

2 上記の「若干名」については、採用予定数が1名から4名までの場合に用いています。

3 上級(特別枠)試験は、6月実施の上級試験と試験内容が異なりますが、採用後の職務内容や勤務条件等に差異はありません。

4 7月の社会人経験者採用選考試験とは併願ができません。上級(特別枠)試験の受験を申し込んだ場合、社会人経験者採用選考試験の受験申込みができません。

## 問合せ先・受験申込先

### 沖縄県人事委員会事務局総務課

〒900-0036 那覇市西3丁目11番1号(三重城合同庁舎8階) 電話: 098-866-2545

台風等による試験日程の変更その他緊急連絡は、沖縄県人事委員会事務局ホームページ「沖縄県職員採用試験のお知らせ」に掲載します。

インターネット(スマートフォン利用可)での受験申込み、沖縄県人事委員会事務局ホームページから行うことができます。

沖縄県職員採用試験

人事委員会HP



## 2 受験資格

(1) 年齢 次のいずれかに該当する者

ア 平成3年4月2日から平成17年4月1日までに生まれた者

イ 平成17年4月2日以降に生まれた者で次に掲げる者

(7) 大学を卒業した者又は令和9年3月までに大学を卒業する見込みの者

(4) 人事委員会が(7)に掲げる者と同等の資格があると認める者

注 大学とは、学校教育法（昭和22年法律第26号）に規定する大学（短期大学を除く。）をいう。

(2) 国籍条項

日本の国籍を有しない者も受験できます。ただし、日本の国籍を有しない者は、公権力の行使又は公の意思形成への参画に携わることとはできないとする公務員に関する基本原則に基づき任用されます。また、採用に当たっては、「就職が制限されない在留資格」であることが必要です。

(3) 欠格条項

地方公務員法（昭和25年法律第261号）第16条に規定する次のいずれかに該当する者は、受験できません。

ア 拘禁刑以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者

イ 沖縄県職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者

ウ 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

## 3 試験の日時及び場所

試験	日時		試験予定地
第1次試験	教養試験 専門試験 適性検査	4月19日(日) 9時00分から15時30分頃まで	本島中南部
第2次試験	5月中旬から下旬を予定していますが、試験の日時、試験会場等については、第1次試験合格発表後に人事委員会事務局ホームページでお知らせします。		

注1 第1次試験地の試験会場については、受験申込み後に沖縄県人事委員会が交付する受験票で確認してください。

2 第1次試験の試験会場へは公共交通機関等を利用し、自家用車、オートバイ等の乗入れ又は会場周辺の無断駐車（送迎車を含む。）はおやめください。無断駐車が判明した場合は、試験会場から退場していただく場合があります。

3 試験会場（敷地内を含む。）は、全て禁煙です。また、ゴミは試験会場に捨てずに各自持ち帰ってください。

## 4 試験の方法

試験は第1次試験及び第2次試験とし、第2次試験は、第1次試験合格者について行います。

	試験種目 (配点)	内容
第1次試験	教養試験 SCOA (80)	一般的知識及び能力等（別表参照）についての択一式（120問）による筆記試験を行います。（1時間）
	専門試験 (120)	各試験区分に必要な専門的知識、能力等（別表参照）についての択一式（30問）による大学卒業程度の筆記試験を行います。（2時間）
	適性検査	適性検査の結果については、個別面接の参考とします。
第2次試験	個別面接 (300)	主として人物について個別面接による試験を行います。

〈別表〉

	試験区分	出題分野
教養試験	全試験区分	文章読解能力、数的能力、論理的思考能力、人文・社会、自然に関する一般知識、基礎英語
	電気	数学・物理 電磁気学・電気回路 電気計測・制御 電気機器・電力工学 電子工学 情報・通信工学
専門試験	機械	数学・物理・情報 材料力学 流体力学 熱工学 電気工学 機械力学・制御 機械設計 機械材料 機械工作
	土木	数学・物理・情報 応用力学 水理学 土質工学 測量 都市計画 土木計画 材料・施工
	建築	数学・物理・情報 構造力学 材料学 環境原論 建築史 建築構造 建築計画 都市計画 建築設備 建築施工
	農業土木	数学 応用力学 水理学 測量 土壌物理 農業水利・土地改良・農村環境整備 農業 土木構造物 材料・施工 農業機械 農学一般

注1 第1次試験の教養試験及び専門試験は、マークシート方式で行います。筆記具（鉛筆、消しゴム）を持参してください。また、適性検査で使用するので、黒のボールペンを持参してください。

2 第1次試験受験の際は、机の上には筆記具及び時計（スマートフォン、スマートウォッチ等不可）のみ置くようにしてください。また、試験会場の冷房などによる温度変化に対応できる服装で受験してください。

3 第1次試験における合否判定に当たっては、教養試験及び専門試験の得点は標準点に換算した上で、教養試験は標準点に0.8を乗じたものとし、専門試験は標準点に1.2を乗じたものとします。

4 教養試験、専門試験及び個別面接には一定の基準があり、1つでも基準を満たさない場合は、不合格となります。

5 所定の試験種目を全て受験した場合に有効に受験したものとし、棄権した試験種目が1つでもある場合は、他の試験種目についても採点を行いません。

6 第1次試験（専門試験）の問題例題については、沖縄県人事委員会事務局ホームページ又は沖縄県行政情報センター（県庁行政棟2階）で閲覧できます。

5 面接カードについて

**第1次試験日（4月19日（日））の試験会場に面接カードを持参し、提出してください。**

**※提出が確認できなかった場合は、第2次試験を辞退したものとみなします。**

「面接カード」の様式は、沖縄県人事委員会事務局ホームページ「面接カードの提出」  
(<https://www.pref.okinawa.jp/kensei/jinji/1016520/1016519/1016545.html>) よりダウンロードし、  
A3サイズに印刷の上、必要事項を記入して持参してください。

## 6 合格者の発表

	発表日	方法
第1次試験合格者	5月1日(金)	沖縄県人事委員会事務局ホームページ（アドレスは1ページを参照）に掲載するほか、沖縄県人事委員会事務局（三重城合同庁舎8階）で掲載します。 なお、第1次試験合格者については、郵送による通知は行いません。また、最終合格者には、後日、郵送により通知します。
最終合格者	6月上旬予定	

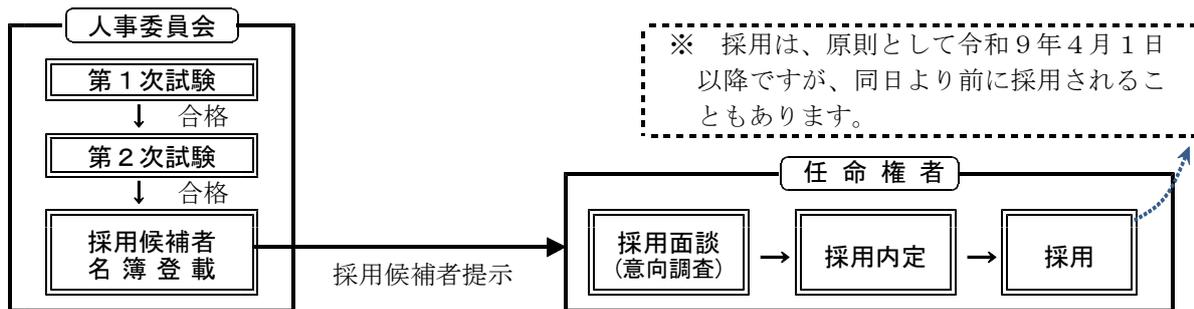
## 7 試験結果の提供

試験の結果については、口頭による情報提供依頼を行うことができます。本人確認書類（マイナンバーカード、運転免許証、旅券等）を持参の上、開庁日の9時から17時15分まで（12時から13時までの間を除く。）の間に、沖縄県人事委員会事務局総務課までお越しください。なお、電話、メール等による提供依頼には応じられません。

提供する内容	提供依頼できる人	情報提供期間
第1次試験の試験種目別得点、合計得点及び順位	第1次試験合格者	最終合格発表日から令和9年3月31日まで
	第1次試験不合格者	第1次試験合格発表日から令和9年3月31日まで
第2次試験の試験種目別得点及び総合得点並びに総合順位	第2次試験受験者	最終合格発表日から令和9年3月31日まで

## 8 受験から採用まで

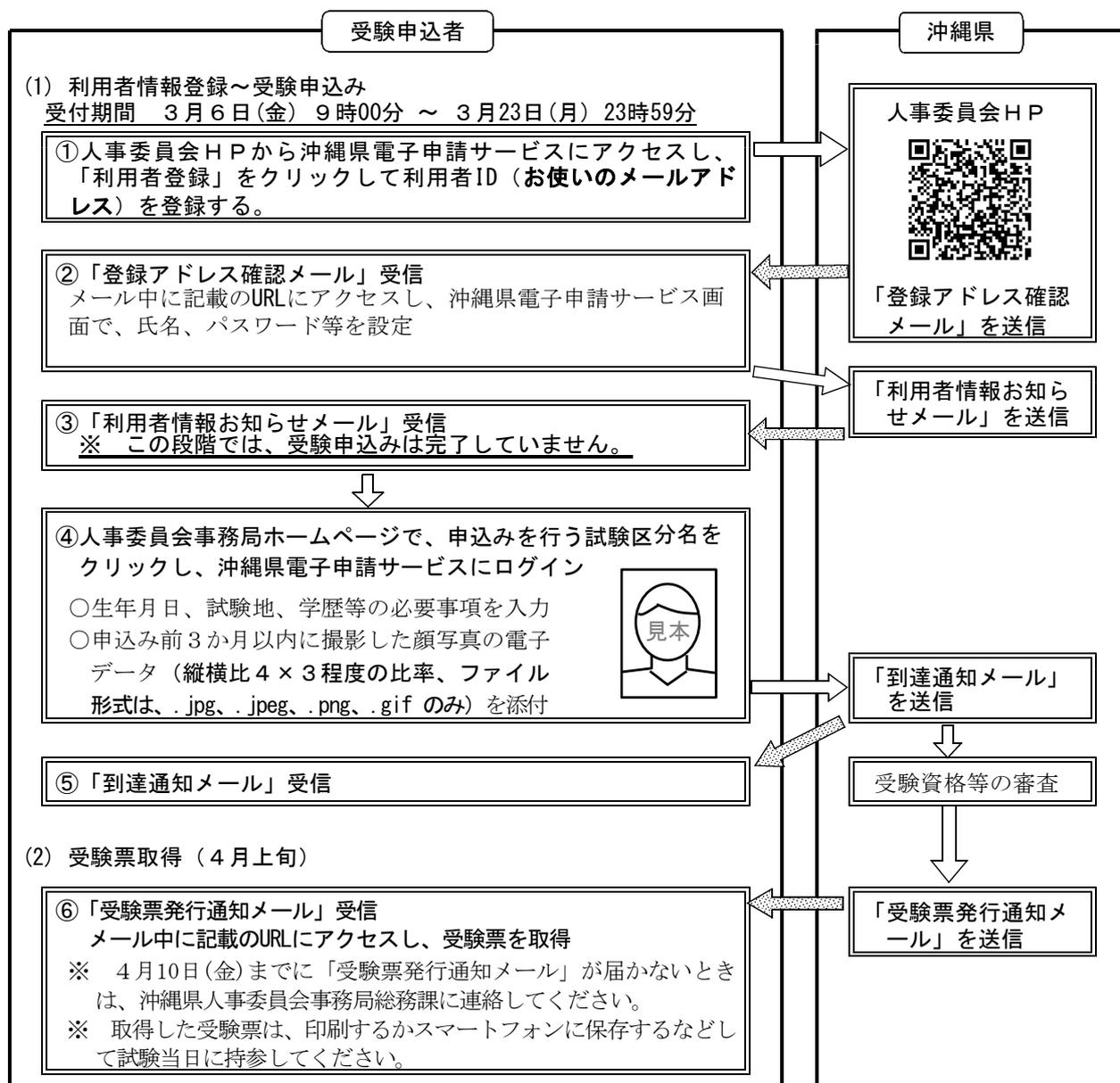
- (1) 最終合格者は、試験区分ごとに作成する採用候補者名簿（当該名簿は、確定日から原則1年間有効）に記載されます。各任命権者は、人事委員会が提示する当該名簿に記載された者の中から採用者を決定します。なお、受験資格がないことが判明した場合は、合格を取り消します。



- (2) 任命権者とは、知事部及び企業局等を指します。
- (3) 最終合格者の数は、年間の採用予定数と採用辞退者等の見込数を考慮して決定します。したがって、採用辞退者数等の状況によっては、最終合格しても採用されない場合があります。
- (4) 令和8年3月6日現在、初任給は232,000円で、経歴等に応じてこの額以上になります。このほか、扶養手当、住居手当、期末手当、勤勉手当等が支給条件に応じて支給されます。

## 9 受験手続（インターネットによる申込み ※スマートフォン利用可）

沖縄県人事委員会事務局ホームページにアクセスし、ホームページに掲載している「電子申請の操作手順」に従って、受験申込みを行ってください。なお、車椅子での受験など配慮を必要とする方は、申込み前必ず沖縄県人事委員会事務局総務課に連絡してください。



- 注1 申込み後は、申込みをした試験区分の変更は認めません。  
 2 申込内容等に不正があると、不合格になることがあります。  
 3 沖縄県人事委員会は、予期せぬシステムトラブルについての責任は一切負いません。  
 4 インターネットでの申込みができない方は、沖縄県人事委員会事務局総務課までお問い合わせください。

## 10 個人情報の取扱い

本試験の実施に際して収集した個人情報は、次の目的に利用します。

- (1) 試験の実施に関する事務
- (2) 受験者台帳及び採用候補者名簿の作成（受験者及び合格者に係るデータベースの作成含む。）
- (3) 試験に関する連絡及び情報提供（試験結果の提供を含む。）
- (4) 任命権者（知事部・企業局等）による採用に関する事務（業務紹介や説明会等の案内を含む。）

- 11 第1次試験の持ち物について  
以下を参考にしてください。

## 第1次試験 持ち物チェックリスト

- 受験票（紙に印刷 or スマホにDL）
- 面接カード（A3に印刷し、必要事項を記入）
- えんぴつ
- 消しゴム
- 黒ボールペン
- 時計（スマートウォッチ等不可）